

# さいたま市 退職校長会 会報

発行責任者  
桑原裕通

## 市退職校長会で 生きがいを 見つける

さいたま市退職校長会

副会長 新井 広

朝、教室に行くと「先生！アゲハチョウが生まれたよ！」子ども達が目を輝かせて知らせてくれた。学級担任になりたての頃の話です。会社勤めから転職して教員になった私にとって、子どもたちの素直でやる気に満ちた姿に感動する毎日でした。現在は退職校長会で会員の皆さんと、魅力ある退職校長会を目ざして活動しています。退職後は学校との関わりが少なく、

社会から離れていく傾向にあります。その様な中、退職校長会での活動は多くの刺激を受け、生きがいを感じています。

教育界の現状を考えてみると教員のなり手が減少していることがあげられます。我々元教員が教職の楽しさ、やりがいを知らせていく必要があります。また、教員の多忙、業務量の増大などが問題となっています。さいたま市教育委員会では、学校における働き方改革を推進して働きやすい環境づくりに努めています。退職校長会では、現職の校長との接触を多くし、少しでも学校現場の改善に寄与できればと思います。

さいたま市退職校長会では、現職・退職校長教育推進協議会

で、現職と退職校長の交流を深めています。この中で、現在の学校の様子について知ることができます。また、浦和・大宮・与野・岩槻各班の事業に他の班から参加し、交流を深めています。私は与野班ですが、与野の研修会に、他班の方々も参加してくれています。そして、私も他班の研修会に参加しています。また、市退職校長会会報「談話室」をよく読みます。多くの会員の退職後の生き方を知り、自分への刺激としています。今後、市退職校長会での活動を通して、皆さんに充実した日々を過ごすための一助にしたい。成長していきたいと思えます。



— 新井 広 副会長 —

### 目次

#### ◇巻頭言

さいたま市退職校長会

副会長 新井 広

1

#### ◇令和六年度

さいたま市現職・退職校長  
教育推進協議会

○教育推進協議会 概要

○研究 発表 要 旨

大久保東小学校 校長 目黒 良作

片柳中学校 校長 加藤 明良

退職校長会 金子 泰久

5

#### ◇教育情報

さいたま市の教育

「カリキュラム・マネジメントの  
充実について」

さいたま市教育委員会

6

#### ◇班だより

○浦和班・星野 貞邦 ○与野班・山岡 康幸

○大宮班・溝口 正己 ○岩槻班・岡野 功

8

#### ◇談話室 〈私の一言〉

大木 裕史・永嶋 和実

三上 良正・森 裕子

菊池 保夫・星野 薫

橋本 滋

12

#### ◇ご長寿者 一覧表

12

#### ◇編集後記

題字.. 桑原 裕通

## 令和六年度さいたま市 現職・退職校長教育推進 協議会 概要

令和六年十一月二十二日(金)

市民会館おみやにて、現職校長四十七名、退職校長四十五名の参加者を得て開催された。ご来賓は、さいたま市教育委員会教育長 竹居 秀子様、埼玉県退職校長会会長 新井 俊一様。

### 一 開会行事

野口事務局長の司会進行、小学校校長会 永山会長の開会の言葉にて協議会が開催された。

### 桑原会長の 主催者あいさつ

【概略】この協議会は平成十五年から始まり、今回で二十二回目となります。本日は、小学校・中学校・退職校長会からそれぞれの代表の方に発表をしていただきます。現職の校長先生方には、今後の学校経営に活かしていただき、退職した方々には、学校や地域社会において、どのような支援ができるのかという

ことについて考えるきっかけにさせていただきたいと考えます。今日の協議会が皆さんにとって有意義なものとなるよう祈念してあいさつとします。

### 竹居教育長の 来賓あいさつ

【概略】本市の教育について情報を提供させていただきます。まず、七月末に公表された全国学力学習状況調査の結果です。教科については全ての科目において全国の平均正答率を二・九

五・五ポイント上回っています。右肩下がりになっているのを考えていきたい。また、生活習慣や学習環境に関する調査では、自己肯定感が例年のように高かった。嬉しかったのは、困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるという回答が、全国より十四・四ポイントも高かったこと。本市の学校教育が学校と児童生徒の信頼関係に支えられ、あたたかい指導環境のもとに行

われていると考えています。次に、文化・運動面では、全日本吹奏楽コンクール全国大会で土屋中学校が金賞、東日本学校吹奏楽大会中学生部門で大宮南中学校が金賞、小学生部門で大宮南小と宮原小学校が銀賞。全国中学校体育大会では、個人種目では田島中学校の柔道部、片柳中学校の陸上競技部・男子棒高跳びが、全国優勝。団体種目では、大宮西中学校の相撲部が準優勝、田島中学校の女子柔道部が三位。埼玉県駅伝競走大会では、女子の部で常盤中学校が優勝し、全国大会へ出場。男子の部では美園南中学校が三位で、関東大会へ出場。これらの成果は、これまでの伝統の上に、現職の校長先生方の確かな教育実践が積み重ねられているからだと感謝申し上げます。

### 新井県退職校長会長の 来賓あいさつ

【概略】幸せになる五つのポイントを探してきました。PERMAをかけることだそうです。

「ポジティブな感情(P)、熱中する(E)、人間関係をよくする(R)、意義を感じる(M)、そして達成(A)。」現職校長会の方も退職校長会の方も幸せを求めて頑張ってください。

### 二 研究発表・研究協議

研究部大澤・萩原両幹事により進行される。(以下後述)

### 三 閉会行事

中学校長会 小熊会長の閉会の言葉にて教育推進協議会を終了とした。(文責 蓮見 哲)



## 研究発表 要旨

### ◇小学校教育の諸課題

「家庭や地域等との  
連携・協働と学校段階の  
接続・連携の推進」

大久保東小学校

校長 目黒 良作

#### 一 はじめに

コロナ禍が落ち着き、教育活動が平常時に戻りつつある現在、現行学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程」の実現に向け本校でも研修を重ねている。

#### 二 本校の概要

育成会、自治会、公民館等の地域組織があり、コミュニティ・スクール、SSN等がしっかり



— 目黒 良作 校長 —

機能している。本年度、開校五十周年を迎え、様々な周年行事を通して今まで以上に家庭や地域等との連携・協働の大切さを実感している。

#### 三 研究のねらい

本校児童は素朴で純粋であるが、家庭的な背景もあり教育相談、特別支援上の課題が多い。

よって家庭・地域との連携・協働は、学校経営の大きな柱である。そこで、「多様な児童の誰一人取り残さない、多様な学びを実現すること」を研究のねらいとし「家庭や地域等との連携・協働と学校段階の接続・連携の推進」を次のように進めている。

#### 四 研究の概要

##### (1) 特別な支援や配慮を必要とする児童の対応

① コミュニティ・スクール、S

SNとの連携・協働

地域各団体を含め、不登校傾向にある児童のサポート、校内における各種サポート等をお願

いするとともに、学校から地域行事への参加を家庭に促す。

② 児童養護施設との連携・協働  
施設から複数の児童が通っているため、施設職員との合同の研修会等を行い、児童のサポートを実施している。

##### (3) 外部機関との連携・協働

校内でのケース会議はもちろん児童の課題に応じて、区役所、児童相談所、警察、医療機関等との連携を行い、それぞれの役割を果たせるようにしている。

##### (2) 学校運営のサポート

① 学習サポート

生活科や社会科、家庭科など特別支援学級を含むすべての学年で学習面のサポートを保護者・地域ボランティア、協力店舗や施設にお願いしている。

##### (2) 活動・環境・安全サポート

読み聞かせ、登下校の見守り、環境の整備など、地域、PTA、保護者のボランティア等を中心に多くのサポートを得ている。

(3) 地域行事への参加・貢献、  
学校行事への招待

区役所、育成会、自治会、公民館、PTAの行事への参加を児童に呼び掛け、教職員も一緒になり地域との絆を深めている。

#### (4) 中学校、幼稚園・保育園、他の小学校との連携

生徒指導上の課題をはじめ、子どもたちが地域の教育機関で健やかに過ごせるよう、様々な情報の共有に努めている。

#### (5) 保護者との連携・協働

授業参観や学校行事、面談等、保護者と共に子どもたちを育む協働を大切に行っている。

#### 五 まとめ

教育活動への地域人材の活用、地域活動への児童の参加は、地域と児童、家庭をつなぐとともに、地域住民の生きがいにつながっている。学校は、このような連携・協働の力を高める機能を有している。学校のトップである校長は、学校と保護者・地域をつなぐ大きな役割を担っていることを肝に銘じ、今後も学校経営にあたっていきたい。

◇中学校教育の諸課題

部活動地域移行の取り組み

「生徒、教員が希望する

部活動に取り組める

環境をめざして」

片柳中学校

校長 加藤 明良

一 はじめに

○部活動地域移行の背景

①教職員の視点。長時間労働の  
是正や働き方改革の推進。

②生徒・保護者の視点。少子化  
に伴う生徒の減少や専門的指  
導教員の教員数減少。

③国の思惑。長時間労働に伴う  
教員志願者減やスポーツ振興、  
選手等のセカンドライフなど。  
こうした課題が複雑に絡み合  
い、令和五年度より部活動の地  
域移行が全国的に動き出した。



—加藤 明良 校長—

二 さいたま市の動き

さいたま市は合併後からサポー

ターの配置や部活指導員の配置  
を行ってきたが、本格的な始動  
は令和元年からであり、スポー

ツ庁の地域運動部活動委託や推  
進実証事業が実施され、令和四  
年にはいくつかの検討会が開催  
された。その中で、「経産省未来

のブカツ実証事業」をさいたまス  
ポーツコミッションが受け皿とな  
り実施されることになる。この組

織が片柳中での地域移行クラブ  
の立ち上げを支援することとなる。

三 片柳中での取り組み

①令和四年、学校運営協議会で  
部活動地域移行についての熟  
議と地域クラブの発足依頼。  
経産省未来のブカツ実証事業  
開始。

②令和五年より市モデル校とし  
て指定を受け「かたやなぎク  
ラブ」発足・活動開始。

四 片柳中学校部活動地域移行

プランの策定

①生徒がやりたい部活動を継続  
できる環境づくり

②生徒がより専門的指導を受け  
られる環境づくり

③教員が指導したい部活動を継  
続できる環境づくり

の三点を目的とした。さらに、  
平日は三〜四日（二時間程度）  
中学校の部活動として実施。土

日の三時間程度は「かたやなぎ  
クラブ」として六つの運動部と  
三つの文化部が活動を開始。任

意団体としての運営組織づくり。  
土日の指導費は民間事業者の総  
括団体より支給。活動費学期千

円を保護者より徴収。地域へ指  
導者の要請や指導したい教員の  
兼職兼業願の届出等実施。

五 取り組みの成果

①教員は基本的に賛成で、土日  
の指導が無くなることで負担  
軽減がなされる。平日の活動  
日も減少しメリットは大きい。

しかし、兼職兼業教員の負担  
は依然と変わらない状況であ  
る。

②生徒・保護者は地域移行後も

活動自体に変化はなく大きな  
不満はない。入部において、

兼部や年度の移動も認められ、  
部活に対する苦情は減少。生  
徒が主体的に参加することで

意識の変化やスキルの向上が  
図れて活躍する生徒が多くな  
った。

③生徒からのアンケートより

・外部指導者による高い技術を  
持った人から学ぶことができ  
ている。

・全員加入から自由になり兼部  
も認められた。

・自分のペースで参加できる。  
など、好意的な意見が多く見  
られた。

六 今後の課題

部活動における教育的意義の  
維持。指導者の質や地域人材の  
確保。教員の協力で成り立って  
いる大会の存続。兼職兼業教員  
と、しない教員の理解と連携。

受益者負担に関する保護者の理  
解と協力。継続的運営資金の確  
保。など様々な課題があり、今

後、市として地域移行（地域展  
開）は市長部局を含め大胆な改  
革が必要と考える。

## ◇生涯学習上の諸課題

「森鷗外・森於菟とさいたま市」

さいたま市退職校長会

金子 泰久

森於菟は森鷗外の長男である。医学者であり、盆栽村（現さいたま市北区盆栽町）に家族とともに住んでいた。さいたま市とのつながりが深い人物である。

## ○大宮公園の開設

明治六年、明治政府は西欧諸国にならい公園開設を始めた。浦和公園偕楽園（調公園）や与野公園などが設置されている。大宮では明治十八年に大宮駅が開設され、同年に「氷川公園」の名称で開園された。公園内には休憩施設の「含翠楼」、ベン



—金子 泰久 会員—

チや遊歩道なども整備され、割烹旅館が開店し、東京から気軽に行ける保養地として人気になったようである。明治二十一年に制作された銅版画（さいたま市立博物館）には、建物の周辺に松林が大きく広がる氷川公園の様子が描かれている。森鷗外をはじめとして、太宰治、永井荷風、高浜虚子など、数多くの文学者たちが訪れている。正岡子規などは滞在中に松山から夏目漱石を呼び寄せている。樋口一葉も短い生涯の中で大宮を訪れている。

## ○森於菟について

於菟は誕生直後に両親が離婚し、祖母の峰に厳しく育てられ、同時に熱心な教育を受けた。解剖学専門の医学者として東京帝国大学に勤務したが、昭和八年に、郊外の閑静で文化的な環境を求めて盆栽村に西洋風の家を建て、家族とともに移り住んだ。台湾に赴任するまでの間、盆栽村に住みながら小学生の息子た

ちと東京に通っている。

エッセイストでもある森於菟の随筆の中の「盆栽村小景」には、当時の盆栽村付近の様子が記されている。現在、住居跡は国際盆栽アカデミー実習場・培養場として活用されている。

## ○なぜ盆栽村を選んだのか

伊藤左千夫の「野菊の墓」、夏目漱石の「三四郎」とともに、森鷗外の小説「青年」は代表的な青春小説とされている。「青年」は大宮公園を舞台の一つとしており、於菟は尊敬する父の影響を受けて大宮公園近くの盆栽村を選んだものと思われる。また、東京千駄木の盆栽業者が多く移り住んで盆栽村をつくっていたことや、大宮公園には多くの著名な文人が訪れていたこと、当時は郊外に住んで鉄道を使って通勤することがステータスであったことなどもその理由としてあげられる。ドイツ留学時に経験した郊外の広い屋敷に住むことへの憧れもあったよう

である。

## ○台湾での森於菟

昭和十一年に台湾の台北帝国大学に医学部が新設され、翌年、於菟は解剖学の教授として招聘された。その際、鷗外の遺稿と遺品、資料を大型の木箱数個に荷造りして台北帝大に郵送した。敗戦の混乱の中家族で帰国したが、鷗外の資料は同僚や教え子に守られ、後日、日本に送り届けられた。今日鷗外の資料が存在するのは、於菟が父の遺品を必死に守り抜いてきたことによる。

於菟は現地の学生を差別することなく日本人学生との円滑な交友をすすめる、多くの立派な医師を育て上げた。明治の教育家・井沢修二も台湾の近代教育普及に貢献し、その作曲といわれる「仰げば尊し」は卒業式で今も歌われるなど台湾は親日的である。台湾はなぜ親日になったのか、外国との付き合い方を森於菟博士が教えてくれている。

## カリキュラム・マネジメントの充実について

さいたま市では、これまで「授業日数205日以上」を確保してきましたが、さいたま市立小・中学校管理規則の一部を改正し、令和7年度より「教育の量から質への転換」を図ります。

さいたま市では、平成23年度から、市立小・中学校の年間の授業日数を205日以上とし、学校の教育活動にゆとりをもたせることで、学校行事や学習における習得・活用の時間を確保し、児童生徒の潤いのある学校生活を実現してきました。振替なしの土曜授業を複数回設定し、国が定めた標準授業時数に対して余裕をもって授業時数を配当できるようにすることは、各学校の教育水準を確保し、教育の質を量的に支えるものとして大きな役割を果たしてきました。

その後、13年が経過し、学習指導要領の改訂、児童生徒1人1台端末の整備、学校における働き方改革の推進等、学校教育を取り巻く状況は大きく変化しました。これからの学校は、整備されたICTを効果的に活用しながら、「カリキュラム・マネジメント」を充実することにより教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図ることを目指さなければなりません。

ここでは、【**学校のカリキュラム・マネジメントの充実を支える教育委員会の取組**】について紹介いたします。

### 【学校のカリキュラム・マネジメントの充実を支える教育委員会の取組】

#### 1 「学校自己評価システム」と「教職員人事評価システム」の有機的な連携

「学校自己評価システム」と「教職員人事評価システム校長用」の評価項目をそろえ、校長の目標と教職員の目標を連鎖させることで、全ての教職員がカリキュラム・マネジメントを自分事として考え、学校運営への参画意識を高められるようにします。

#### 2 各学校の重点目標や特色を生かした「カリマネデザインマップ」の作成

学校の目指す子どもの姿や重点的に育成する資質・能力を意識し、各学年の各教科等の1年間の単元配列を俯瞰的に把握する「カリマネデザインマップ」を新たに作成します。教科間や学校行事との関連性を意識した教科等横断的な授業の展開、より効果的な授業を展開するための単元の入替えなどを考える際の資料になります。

#### 3 クラウドを活用した「カリマネプラットフォーム」の運用

学校内においては、効率的・効果的な授業準備の実現や、授業後すぐの計画改善などが可能になります。学校間での活用については、他校のデザインマップ等、他校の取組から学ぶことができるようになります。

#### 4 学校が見通しを共有するための「カリマネサポートカレンダー」

カリキュラム・マネジメントの充実に関わる教育委員会各課所室の取組を一覧にすることで、学校が見通しをもち、PDCAサイクルを意識できるようにします。

#### 5 「推進の指針・指導の努力点」をカリキュラム・マネジメントの視点で充実

『さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点』の「推進の指針」は、各学校が教育課程を編成する際に基準とする重要な資料です。令和7年度以降、各学校がカリキュラム・マネジメントをより一層充実していくにあたり、これまで以上に実効性の高い手引きとするため、内容や示し方を整理します。

#### 6 「授業参観シート」による管理職や教職員間の授業改善に係る対話の活性化

日常的な授業参観の際に活用できる「授業参観シート」の例を提供します。各学校の実態に応じてカスタマイズし、授業改善に係る対話の活性化に役立つことが期待できます。

# 班だより

## ○浦和班 星野 貞邦

さいたま市浦和退職校長会は令和六年度四名の新会員を迎え、二百三名でスタート。「会員の親睦と福祉の増進、教育の振興に寄与、現職学校長への支援」をテーマに活動を進めました。

## ◇総会・長寿祝賀会

並びに新会員歓迎会  
五月十九日(日)、市教委学

## ○与野班 山岡 康幸

さいたま市与野班退職校長会は、今年度一名の新会員を迎え、桑原裕通会長以下全四十九名でスタートしました。

## 一 定期総会・懇親会

五月十日(金)ブリランテ武蔵野を会場に、令和五年度の事業報告や決算・監査報告、また、令和六年度の事業計画や予算案・新役員について審議されました。総会後は、同会場一階の「かつ

校教育部長をお迎えし、さいたま共済会館にて開催。終了後、長寿祝賀会(喜・米寿)及び新会員歓迎会を実施しました。

## ◇一日研修会

「千葉県佐原」で

レトロモダンな鑑賞」

六月十八日(火)、十九名の参加者で実施しました。小雨の中、佐原三菱館、伊能忠敬記念館等を見学し風情のある町並みを満喫しました。また、バスの中で多彩な話題に花が咲き、親睦が深まり、充実した研修で

した。

## ◇うらかい同好会活動

ハイキング、ゴルフ、囲碁、合唱など八個の同好会があります。その中でも、ゴルフ同好会は年二回(五月、十一月)にう

らわかい親善ゴルフ大会として開催しました。他の班からの多くの参加をいただき、楽しく和気藹々プレーすることができました。また、ハイキング同好会は七月に十二名の参加で東京の田端方面(六義園、旧古河庭園等)を見学しました。

## ◇講師等紹介システムの構築

会員の専門的知識・特技や趣味を教育振興に寄与するため、十九名が講師登録し、学校教育活動を支援しています。

## ◇親睦旅行

今年度、日帰り親睦旅行として、十二月八日(日)十八名参加で横須賀、三浦半島を見学しました。

## ◇年末懇親会

十二月二十二日(日)、埼玉会館を会場に親睦を兼ねた年末懇親会を開催しました。

## 三 現職・退職校長教育懇談会

十二月六日(金)ブリランテ武蔵野で開催し、小中学校の様子等がよくわかり、交流を深めることができました。

## 四 奉祝 藍綬褒章受章

瀬戸口憲二先生はご退職後、長年にわたり人権擁護委員として活動され、この功績が認められて、春の藍綬褒章(らんじゅほうしょう)を受章されました。誠にめでとうございます。

ぼう好日」にて懇親会が開催され、今年度の結束を誓い合いました。

## 二 研修会

十月十八日(金)与野本町公民館を会場に開催。

淑徳大学人文学部兼任講師で元さいたま市文化財保護課長、

野尻 靖氏より、「与野歴史街道と与野の成り立ち」について

ご講演をいただきました。与野の本町通りは歴史を遡る

と、奈良や平安時代に朝廷より任命された国守が、武蔵野国に赴任する際に氷川神社に詣るために造られたのが起源ということ

です。与野の地域に今も残る神社仏閣や史跡にも当時の様子

を伺わせるものが沢山あることを紹介していただきました。

今回の研修会には中央区の現職校長の出席もあり、また、退職

校長会の各班の会長さんもご参加いただきました。

○大宮班 溝口 正己

【令和六年度のスタート】

○四月三日、新旧理事会。今年度活動計画案の作成と総会の準備等。

○五月十一日、大宮退職校長会総会。会員数二百九名（五月現在）。

【定例会等の活動】

○幹事会・理事会（各四回）。部会（広報・研修・福利厚生）（各二回）。美術展実施委員会の開催（二回）。

○岩槻班 岡野 功

さいたま市岩槻班退職校長会は、二名の新会員をお迎えし、新里孝二会長以下四十八名で充実した事業を展開しています。

一 対外連携事業を本格スタート

ト 「学校・地域を支援するボランティア一覧」を冊子にまとめ区内小・中学校、関係機関に配布しました。すでに、要請に基づき次の活動を行っています。

○「大宮南中学校へ学校訪問による研修」「市内史跡巡り」「会員便りの発行」。また、一日も早い復興を願い能登半島地震義援金を日赤埼玉支部へ。他に、令和六年度の活動を紹介すると…。

【懇親会くく々にく】

○五月十一日、コロナ禍以来遠ざかっていた懇親会を実施した。総会の終了後、三十名が参加。「久しぶり」の声が飛び交う。待ちに待った懇親会である。美酒に酔い、互いに近況を語り合

○学校支援

授業・Solarium・写真展示・土曜チャレンジ他

○児童センターとの連携

ホタルの観察、科学実験、竹細工、虫の生体展示、書き初め他 ※昨年度から実施

二 講演会「課題を抱える今ど

きの子ども達」

八月十七日、さわやか相談員を講師に招き、課題を抱える児童生徒への学校や行政の支援体

う。大いに和やかな宴となった。

【懇親旅行く日本橋さんぽく】

○十月十一日、多くの外国人で賑わう東京駅から日本橋方面への散策。江戸の老舗巡りの小旅である。創業時は、江戸城の天守閣が唯一聳え、遠く富士山が日本橋の空に見えていたのだが…。

今では高層ビルが林立。「空」が見えない？日々変貌する日本橋に仰天至極。昼食は銀座での養殖マグロ。天然と変わらない味。養殖技術に驚嘆。一同大満

足。帰路、荒川を渡る車窓から、空高くすじ雲を見ることができた。

【美術展く冬から秋にく】

○十月十五日から一週間。恒例の美術展を開催。出品数六十二点、参加者二十六名。冬から秋への開催になった。「ゆとりを感じます」「お名前を拝見し懐かしく思います」など、今回も多くの感想が寄せられた。七百八十三人の参観者。毎回、大勢の方々にご来場頂いている。

制、不登校傾向になりうる要因などについて、具体例を交えてお話いただきました。「自己肯定感」を高める指導の大切さを再認識させられました。

三 巳の木目込み人形作り

十二月一・八日、三回目の干支の木目込み人形作りを実施しました。令和七年の干支は「巳」。

細かい曲線に手を焼きながらもこれまでの経験を生かし、堂々たる作品を仕上げました。

※講演会と木目込み人形作りには、今年も他班から多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

四 日帰り研修旅行

十月十五日、二十名で世界遺産の富岡製糸場と世界遺産センターを見学しました。

超近代的な建造物群に圧倒され、また産業振興に携わった人々の気概に敬服しました。



# 談話室

## 私の一言

### 古文書から探る 町人の心意気

大木 裕史

交通安全教育の仕事に加え、地元神社の氏子総代の中では若手として伝統行事に携わる。また、伝統文化継承のための動画作成や地域資料等から家業の記録整理など細々行っている。その中で江戸中期、酒造販売を生涯にしていた頃の記録から目に留まった資料を探ってみた。

調べてみると、原告被告の身分の違いや管轄する幕府の奉行所も異なる裁判は江戸の評定所が裁いていた。裁判は順番待ちで、江戸小伝馬町界隈にあった公事宿（訴訟に来た人専用の宿で訴訟手続き書類作成を手伝う）に泊まり、訴訟のため百姓たち代表を出した酒造人仲間は、訴訟を遣り切る上でも相当広範な経済的支援と覚悟が必要であったことが窺える。評定所の吟味は、文化二年十一月に始まり、文化三年八月、被告の神社側が酒造稼ぎをしないと非を認めため示談となる。その証文として原告に出された文書が、訴訟を支えたであろう近隣の豪商・酒造家に古文書として後世に伝えられてきた。

休暇を利用して資料館で閲覧した証文には、大名等の名が連署され、身分弱き庶民の声にも正対する評定所の真摯な姿勢、不正を正す町人の心意気を感じ清々しい気分が帰途につく。

酒蔵の軒に、蒼蒼とした杉木となるころが待ち遠しい。

## 歳月・・・

永嶋 和実

もう六十八歳になったのか。ふと、思いにふける。蘇る映像。今それをみている自分。

対外試合はソフトボール大会。ピッチャー。小学校時代。なくなってしまった木造校舎。流れていたモンキーズ、ビージーズ。強烈なライナーに飛び上がったグラブを出したらスポンと入った。こんなにうまいの自分。中学校野球部時代。うさぎ跳び、肩車スクワット、今ではダメでしょ。早朝ボーリングに行き登校。できたばかりの上尾の水公園、毎日のように遊びに行った。

大宮北高バスケットボール部の合宿所（学校内）を抜け出して家で仮眠。バレー。ギターを抱えて通った大学。麻雀かギターの練習。ビルの家具の引っ越しのアルバイト一晩一万円。疲れ満載一回でやめた。いつも昼はカレーとコーヒー。

牛丼が始めた頃。他にも配送センターや上尾水上公園の監視員、流れていた「いちご白書もう一度」「シバの女王」。

様々な経験が生きた教員時代。臨時採用は、在学中に産休代員。伊奈小針小。体育で整列に十分はかかった。大宮南小のことはの教室一年間。その間、文教大学の夜間聴講。採用は浦和市。授業研究会の体育では貫井先生に三十本は指導を受けた。「一年生の授業が一番よかった」と。海外派遣ではアメリカ・カナダ。「地域との連携」「視点がいいね」と橋先生からお褒めの言葉。

海外はよく行く。ケニア・オーストラリア等。グアムは四十回超え。ダイビングを始めた五十の手習い。気がつくと六十歳を超え、ときどき思い出に浸りたいと思う。だから「ふと」の間が大切。今は、若いころ夢中で研究したことが、目の前にいる子どもたちを包む要素になっている。

ただ、ふと思う。いつ六十八歳になったのかって。

## ソフトテニス三昧

三上 良正

中学からソフトテニスに関わり、五十五年が経ちました。

テニスを通じて、同輩・先輩・後輩・教え子・保護者・地域の方々など、多くの人達との良い出会いに恵まれました。

五年前の退職後は、縁あって地元K高校女子ソフトテニス部の部活動指導員になり、栄和小・三室中でのコーディネーターの仕事と兼ねていました。

そのK高校で、引退する部員から、「誰も欠けることなく二人全員で引退まで活動できたことがとても嬉しくて、これもコーチが寄り添ってくれたからこそです。」「最後の試合は勝てませんでした。」「ファイナルジュースまでいき、悔しいと思える試合で終わられたのもコーチが指導してくださったからです。」など、私を励ましてくれる素敵

な手紙を幾つも貰いました。

昨年からは、縁あって東京大田区の中学校女子ソフトテニス部の部活動指導員になり、週五日、往復三時間の通勤をこなしつつ、部員と共に楽しくテニスをしています。

三年生中心の春の地区予選、二年生中心の秋の新人地区予選、共に、あと一回勝てば都大会団体戦出場という所で負け、涙を流し悔しがっている選手もいました。しかし、練習中の真面目で楽しい雰囲気、大会での緊張感はとても心地よいものです。

また、ここ四年ほど、最初の教え子Kさんと組んで、県のミックスダブルスに出場し、私自身も楽しく試合ができています。しかし昨年、ひどい椎間板ヘルニアになり、妻に病院まで運んでもらう等、体のあちこちが衰えてきました。複数の病院通いをしている身ですが、少しでも長く、そして、楽しくテニスができるばと願っています。

## 退職後の生活で

## 想うこと

森 裕子

昨年三月に退職してから、市の特別支援教育相談センターで主に「就学相談」の仕事をしています。私は、特別支援教育の免許や勤務経験を有さないもので、日々、知識や面談のノウハウについて学びながら働かせていただいています。失敗も多々あり、ご迷惑をおかけしているのでは、と萎縮する気持ちもありますが、本職を与えていただいたことに感謝し、さいたま市教育の一端を担えるように精進したいと思っています。

一方で、初めての「定時退勤の毎日」と「平日における休日」に当初は少し戸惑ったものの、今では、アフターファイブの習い事（ゴルフレッスン、着付け教室）や平日の渋滞なしの旅行などを楽しんでおります。

目下の課題は「運動不足」です。仕事やプライベートをこれからもさらに充実させるためにも、健康な体づくりを目指して、一大奮起して毎日続ける運動を

実行したいと考えています。今年の人間ドックでは、「骨密度は若者比九十九パーセント」という驚異的な数字をいただき、これも毎日給食で牛乳をいただいていたおかげと思われれます。しかし、周知の事実ですが「太り過ぎ」です。それゆえの数値のNGも言わずもがな、です。で病気になる前になんとか「運動を習慣とする自分」にならないければ、と考えております。

退職してからも一つ「保護司」というお仕事をいただきました。こちらも目から鱗の研修を次々受けさせていただいております。地域の保護司会では、校長会とはまた違ったお立場の大先輩の方々ともたくさんお知り合いになりました。これからの世の中を支えてくださる若手の方々からも刺激をいただきます。教員時代とはまた違った、楽しさややりがいを感じます。「世のため、人のため」はもちろんのこと、いつでもどこでも動いていたい自分の性を生かし、「生涯現役」を全うすべく、これからもがんばりたいと思います。

## 長岡花火大会

菊池 保夫

昨年の六月、長岡花火大会を観覧しようとしたが、有料席はすでに売り切れていた。そこで、会場から約2km離れた長岡市民防災公園で観覧し、当日夜は車中泊とする計画を立てた。

花火大会の起源は、昭和二十年の長岡空襲で亡くなった人々への慰霊と街の復興・平和への祈りである。また、中越地震からの復興の願いも加わり、長岡まつり花火大会として、百万人以上の観客動員数を誇る日本三大花火の一つになった。

花火大会のどのプログラムも素晴らしいが、平原綾香の歌ジュピターをBGMに全長2kmに渡り、約六分間続く復興祈願花火フェニックスは、迫力満点で観衆からも拍手が沸き起こりました。また、正三尺玉の直径六五〇mの大花火、尺玉の百連発

など工夫を凝らした名物花火に時間の経つのを忘れます。

心配したのは、観覧席と駐車場の確保でした。前日に下見をしたので、防災公園の良い場所を確保できた。また、周りの人々からの説明やプログラムの情報提供、隣人のラジオから流れる花火の生中継で、大会会場にいるのと同じ臨場感を感じた。

もう一つの心配は、初体験の車中泊です。暑い八月の夜、車のアイドリングの燃費でした。現地で満タンにでき安心でしたが、後日調べたら一時間当たり約一L位とのことでした。

幸運をもたらしてくれたのは、高速道路の料金の割引制度です。「ドラ割」を利用し、「新潟観光ドライブパス、新潟周遊プラン」は、埼玉からの往復と三日間の新潟周遊で、高速代が一万円という格安プランであることを知り、上手く利用できたこと。

これからも、健康に留意し、興味深いことに挑戦したい。

## 生涯の楽しみ「釣り」

パート2

星野 薫

令和元年に「釣り」の文題で、多種の釣りを楽しんで来た様子をお知らせしました。今回は「真鯛釣り」をお知らせします。

昨年八月十五日新潟・寺泊港ゆたか丸に乗船。釣り座を左前側に取り、アイスボックスと荷物を置く。直ぐに凍っている餌のオキアミ三キロを海水につけて解かし、ロッドキーパーに竿をかけ、電動リールに持参のバッテリーから電源を入れる。薄暗い朝五時半に港を離れ、約一時間後にポイントに着いた。新潟平野に朝日を浴びた弥彦山がくっきりと見える。

船長の合図で、シャベルピシに解けたオキアミを七分目入れ、その先に十メートルの糸に結んだ針に、大きめのオキアミ一匹を付け、そっと海に流し入れる。船長の指示棚は海面から六十五メートルなので、五メートル下

の七十メートルにシャベルピシを落とし、そこから二メートル間隔に竿を二から三回振って餌を撒く、指示棚の六十五メートルにリールを巻いて棚に合わせ、撒いたオキアミと針を同調させる。ここから竿先に注視し、あたりを待つ。この一連の動作をスムーズに繰り返していく。

三回ほどこの動作を繰り返したころ、竿先が海にぐんぐん引き込まれた。魚からの引きと重さを感じながらリールを巻く。強く引く時は巻かず、弱くなったら慎重に巻く、これを数回繰り返しているうちに、シャベルピシが手元に届くくらいに上がってきた。ハリスを手で巻き上げていくと、突然、海から大きな真鯛が顔を出した。船長が大きな網ですくい上げ船の中へ、「ヤッター」四・八キロ七十二センチ約十六年物である。その後十分間放心状態・・・再開し、真鯛三十から四十センチクラス三枚、イナダ四アジ二サバ一と終了の十二時まで楽しんだ。

※参照 ゆたか丸ホームページ

# 学校の働き方改革と 教員の志願者数 減少に思う

橋本 滋

私は現在、非常勤職員として学校で働いている。また、友人二人も他市町で同様に働いており、顔を合わす度に今の学校のことを話題になり、決まって、「今の先生たちは楽だよな」や「もっと伸ばせるのになあ」などのつぶやきが漏れる。そして、「ま、しかたがないけどね」でいつも話は終わる。・・・

ひところのマスコミ報道は、「学校はブラックだ。教員は疲れ果てている。忙し過ぎる」などとマイナスばかりを盛んに報道した。これでは教員になろうと思っっている若者が給料も待遇もいい民間企業を志向するのは当然であると思う。

そこで、学校の働き方改革となり、学校は大きく変わった。持ち時数は減り、私たちのような立場の人員も増えた。電話も勤務時間外は原則取らないで済むようになり、保護者対応も減っている。ワークシート作成も自分で考えなくてもできている。確かに時間にゆとりが生まれている。しかし、私たち退職者が感じる物足りなさは残る。

教員としてのやりがいや喜びは子ども達のより良い変容にある。「先生出来た、出来た」の声や先輩から「いいクラスだね」などと言われた時に、教員としてのやりがいを感ずるのだと思う。

話は変わるが、離職の原因の一つに、そこがブラックだからと反対にホワイト過ぎるからというのもあるそうだ。仕事は楽だがやりがいがなく、スキルアップも望めないのが転職。学校は？やりがいや喜びは、大変さと表裏一体の面がある。教員のやりがいや喜びをもっともって伝えて欲しい。志願者数の増加もそんな所からではないだろうか。

話が変わるが、離職の原因の一つに、そこがブラックだからと反対にホワイト過ぎるからというのもあるそうだ。仕事は楽だがやりがいがなく、スキルアップも望めないのが転職。学校は？やりがいや喜びは、大変さと表裏一体の面がある。教員のやりがいや喜びをもっともって伝えて欲しい。志願者数の増加もそんな所からではないだろうか。

## 慶祝 ご長寿者〔令和6年度〕(敬称略)

上 寿 満100歳	内田 七郎 (大宮)		
米 寿 満88歳	吉野 貞慶 (浦和) 大木 忠司 (大宮)	田中 利幸 (浦和) 多田 清作 (岩槻)	反町 益士 (大宮)
傘 寿 満80歳	中山 厚子 (浦和) 秋元 伸晃 (与野) 栗原 巖 (大宮) 中川新五郎 (大宮)	佐野 鎮 (浦和) 中村 武夫 (与野) 中山 亮 (大宮)	今村 信博 (浦和) 飯村 武 (与野) 山岸 利男 (大宮)

### 編集後記

会報第41号をお届けします。今号は、現職・退職校長教育推進協議会の特集です。ご発表をいただきました諸先生方をはじめ、ご協力いただきました皆様に、改めて御礼申し上げます。また、魅力ある退職校長会を目指した取組である会員相互の交流を促進するためにも、今号掲載の「班だより」と、別紙「班会員交流だより」を併せてご覧ください。今回も、多くの皆様方から貴重な玉稿をお寄せいただきありがとうございました。

(広報担当幹事 豊島 登)